

「介護の実態把握アンケート」に関する結果概要について（抜粋）

- ① 介護経験の有無
 - ✦ 1 割弱の従業員が、現在も働きながら介護をしていることがわかりました。一方で、今後 5 年間、「介護することはない」と回答した人は 27% もいました。
 - ✦ 全体的には介護に対する関心が低いことがうかがえます。
- ② 現在介護をしている人の相談先
 - ✦ 現在介護している人は、社内の誰かしらに相談できているようです。
- ③ 家族・親族の主な介護者
 - ✦ 女性の方が、自分が介護をする可能性が高いと感じているようです。
- ④ 介護不安の程度
 - ✦ 9 割を超える従業員が何かしらの不安を感じていることが確認されました。
- ⑤ 介護不安の要因
 - ✦ 従業員の不安の背景には、仕事と介護の両立のために不可欠な介護保険制度や当社の介護休業制度などに関して十分な情報を欠いていることがあるようです。
- ⑥ 仕事継続の可能性
 - ✦ 従業員の多くが、介護をしながら仕事を継続することは難しいのではないかと不安を抱えています。
- ⑦ 介護に対する職場の雰囲気
 - ✦ 14% の人が「相談できない雰囲気」と回答し、回答した人の 9 割が男性となりました。
 - ✦ 従業員の離職を防ぐためにも、社内に相談しやすい雰囲気を作っていくことが重要と考えます。
- ⑧ 介護中の理想の働き方
 - ✦ ほとんどの社員が退職ではなく、両立を望んでいます。
- ⑨ 仕事と介護の両立支援に関する制度の認知状況
 - ✦ 約 9 割の従業員が現在の制度の内容を知らないか理解していないという結果になりました。
 - ✦ 両立支援制度については、その制度が周知されているか、利用しやすいかも、考えていく必要があります。

以上